

平成 24 年度 (2012 年度) 事業計画書

財団法人 高度映像情報センター
(A V C C)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

はじめに

『リーダーを育む！コミュニティを再生する！』

AVCCの事業目的は、高度映像情報メディア（＝ICT）の利用と提供についてのコンサルティングを行い、生涯学習の推進、文化・生活の向上、産業経済の発展に寄与することにあります。

3.11東日本大震災の発災を経て、AVCCとして「やりたい事」「やらねばならぬ事」が次々と表れましたが、「やれる事」には限界があり、そのギャップに歯がゆい思いを致しました。

平成24年度は『リーダーを育む！コミュニティを再生する！』のスローガンの下、民設民営の公民館「霞が関ナレッジスクエア（略称：KK²）」事業と、コミュニティと地域を再生する「ICT利活用のコンサルティング」事業に総合的に取り組み、コミュニティリーダーの育成とコミュニティ再生のプラットフォーム作りを積極的に推進します。

「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」KK²

「ICTを活かしたコミュニティプラットフォーム」の整備

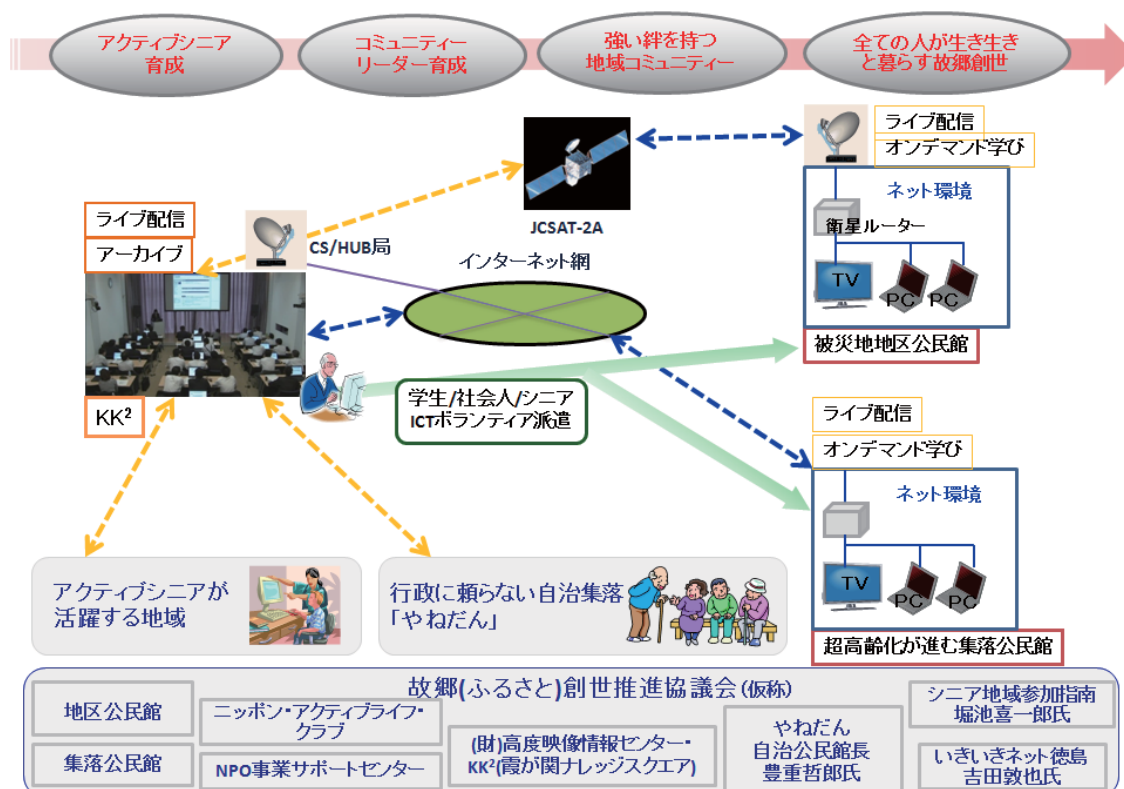
「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」KK²

昨今、超高齢化と世代間の格差拡大を憂える議論を聞きます。胴上げから騎馬戦、騎馬戦から肩車へ、上に乗る高齢者を下で支える若者がだんだん辛くなる、と言われていますが、これは65歳以上の高齢者全員が若者に“おんぶにだっこ”した場合の例えではないでしょうか。世代別人数の多い団塊の世代が、公助当てにせず自助共助で自立し、“アクティブシニア”として社会の課題解決に参画していけば、憂えは大幅に軽減します。それよりも、結婚し子供を生み育む若者をコミュニティが支える、といった少子化対策の方が緊急且つ重要な課題ではないでしょうか。

KK²は「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」というスローガンの下で、①コミュニティの再生、②若者の“しごと力”向上、③“アクティブシニア”の拡大、④日本を理解し文化に親しむ、といった事業を推進してまいります。

これら事業は、KK²双方向遠隔教育プラットフォームを活用し、遠隔地の公民館、学校教育、職業訓練各機関にライブ配信し、アクティブシニアの育成、コミュニティリーダー育成とコミュニティ再生の一助となるべく取組みます。

特に、3.11東日本大震災の被災地の公民館及び超高齢化が進む地域と連携し、“故郷創世”学習コンソーシアムを立ち上げ、①ICT活用プラットフォーム整備、②住民のICTリテラシー向上、③コミュニティリーダー育成、④自立、奉仕、助け合いによる全員参加のコミュニティ作り、⑤資源の顕在化とPB (private brand) 商品開発、等に取り組みます。公民館連携による“故郷(ふるさと)創世”学習コンソーシアム



「ICTを活かしたコミュニティプラットフォーム」の整備

発災、救助、災害支援、復興支援、コミュニティ再生といった復興プロセスの中での、情報収集及び住民への情報伝達、コミュニティからの情報発信については、どの自治体もその重要性を再認識しています。防災行政無線、CATV、携帯電話、インターネット、facebookといった各種メディアについて、各プロセスでの活用方法や費用対効果を含めたシステムの導入及び更新の検討が、喫緊の課題となっています。



また、避難所、仮設住宅集会場、公民館、市町村、都道府県といったコミュニティのレイヤーの中で、被害情報、気象情報、避難情報、物資情報、職員参集情報等々、膨大な情報が集まり、その迅速な情報の整理と適切な対応が求められます。人手では、限界のある情報処理やその情報共有・情報発信には、まさにICTの活用が必須であり、3.11の発災で経験した運用ノウハウの蓄積が必要とされています。



AVCCでは、官公庁、地域、コミュニティのシステム・ネットワーク・ソフト開発・コンテンツ開発など総合的なICTコンサルタントとしてのノウハウ、経験を基に、「ICTを活かしたコミュニティプラットフォーム」の整備のコンサルティング活動を推進してまいります。

霞が関ナレッジスクエア(略称:KK²)事業

(1) “しごと力”向上の取組み ～キャリア応援プログラム～

KK²では、社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が、就いている職業に係わらず共通的に備える能力について調査研究を行い、その総称を「しごと力」と名付けました。

「しごと力」は、三つのコンピテンシーFeel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（実行力）と、Knowledge（知識・理解）、Skill（技能）の五項目に大別され、それを17カテゴリに細分類し明文化しました。KK²が「キャリア応援プログラム」「KK²ライブセミナー」等で提供する教育プログラムは、すべて下記のカテゴリで整理分類し提供しています。

(1)－1 キャリア教育プログラム「エキスパート・スタジオ」 ～社会で活躍する人のしごと力を学ぶ～

さまざまな分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え「仕事とは」「働く喜びとは」について考え学ぶ、インタビュー形式のキャリア教育並びにリーダー育成に資するプログラムです。ゲストは社会人10年目程度の若手から、定年退職後に社会での新しい役割を求め社会の課題解決に活躍する"アクティブシニア"といったさまざまな年代のみなさん。これから社会に出て活躍したいと思っている若者、年齢は重ねても何か社会に役立ちたいと考えているシニアの皆さんに、是非ご参加いただきたいプログラムです。現在18名のエキスパートの方々のプログラムがライブラリー化しています。2012年度も6名のエキスパートをご紹介します予定。若者のしごと力向上では、KK²事業協賛メンバーからの推薦を受け、社会保険労務士、弁護士、航空業界技術職など、"アクティブシニア"では、コミュニティリーダーとして地域で活動している方等をご紹介します予定。プログラムに参加された方々が、ご自身のロールモデルに出会えることが出来ればと考えています。プログラムは当日ライブ配信を行い、後日オンデマンドコンテンツとしてWebサイトで公開します。なお、現在Webサイトのみで公開していますが、視聴ができない環境の方もいらっしゃいますので、DVDを制作し実費程度で頒布をすることも計画しています。

(1)–2 コンピテンシー・チェック

～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

KK2 では、各職業に共通のコンピテンシー（社会で活躍する人の行動特性）を研究し、「Feel＝人間関係力」（自己認識力、感情マネジメント力、共感力、コミュニケーション力）、「Think＝問題解決力」（状況把握力、原因究明力、選択決定力、リスク分析力）、「Act＝実行力」（実行力）の3カテゴリ、9項目に整理しました。コンピテンシー項目毎に開発された課題映像（ドラマ）を視聴し、自分ならどう考え行動するのかを記述後セルフチェックを行います。自分自身を理解し、必要な意識変革やのぞましい行動などを理解するとともに、よりよい行動特性に気付き身に付けていくことを目指すチェックシステムです。昨年度は、単独のシステムとしての利用に加え、コンピテンシー・チェックを学習の入り口とし、「エキスパート・スタジオ」や「しごと力向上ライブラリ」などの学習コンテンツとの連携に取り組みました。今年度は、3.11 東日本大震災被災者の就業力支援、コミュニティリーダー育成、大学でのキャリア教育、企業での“内定者”研修といったターゲットに対して、コンピテンシー・チェックからしごと力向上ライブラリーへ繋がる学習コースを作り、引き続き一般公開に加え、大学の正規授業や研究授業等での利用にも協力していきます。

<http://www.kk2.ne.jp/competency/index.cfml>

(1)–3 しごと力向上ライブラリ

～いつでもどこでも学べるしごとに必要な「Skill」「Knowledge」～

“学力”を学ぶ学校では充分教えられていませんが、社会に出て仕事に就くと必要とされる”しごと力”「Skill」「Knowledge」をテーマに、毎月単元 WEB コンテンツを開発し、オンデマンドで学習できるライブラリとして提供しています。ビジネスマナーやビジネススキルなど、新入社員はもちろん様々な職業のビジネスパーソンに役立つ教材を公開しています。（2012.3.29 現在 59 講座 160 単元）基本的にどこの組織にも属していない弱い立場の人でも、学ぶ意欲さえあればだれでもどこでもいつでも学べることを応援するサイトとして運営。加えて、大学のキャリアセンターや図書館、新入社員・中途社員教育に余裕がなくなった企業、未就業者、失業者等の就業支援訓練事業者等が、利用者・受講者に、当該機関自前の教育プログラムを補完するセルフ学習教材として紹介・活用することにも対応しています。2012 年度も雇用状況、産業構造、若者の就業力などに対応した教材を毎月開発し公開していきます。

しごと力向上ライブラリー

[【Knowledge（知識）】ビジネス／大学](#)

[【Knowledge（知識）】法律](#)

[【Knowledge（知識）】健康](#)

【Knowledge (知識)】生活・文化

【Skill (技能)】ビジネスマナー

【Skill (技能)】ビジネススキル

【Skill (技能)】ITスキル

【Skill (技能)】マネジメントスキル

(1)－4 「KK²カウンセリングプログラム」 (初回無料)

～キャリアについてカウンセラーが相談に乗ってくれます～

そもそもカウンセリングとは「言語的および非言語的コミュニケーションを通して、相手の行動の変容を援助する人間関係（「カウンセリングの理論」 國分康孝著）」であり、カウンセラーとクライアント（来談者）の間で行われる相談・援助等にかかわる人間関係のことをいいます。

KK²のキャリアカウンセリングは、キャリアに的を絞り、自分のキャリアについて悩むビジネスパーソン、これから就職を控えている学生など、キャリアに関する悩みについてプロに相談できるサービスを行っています。2012年度は前年度同様、NPO 法人日本キャリア開発協会（JCDA）の協力を得て、月曜日から金曜日の週 5 日体制でサービスを実施しています。また、霞が関ナレッジスクエアのアカデミックメンバーや事業協賛メンバーの要望に応じて特別カウンセリングを行うことにしています。

(1)－5 「KK²しごと力道場」 ～しごと力に磨きをかける他流試合～

KK²では、産学官の様々な領域で活躍するビジネスパーソンを対象に、根源的なテーマについてディスカッション、ディベートを行い、「自分を客観的に評価する力」「自分で考える力」を養うことを目的とした「KK² しごと力道場」を開催します。「KK² しごと力道場」は参加者 8 名にしごと力師範と師範代が付き、企業等の内定者向けやコミュニティリーダーを対象に数回実施する予定です。

(2) イノベーションプログラム

～産学官連携による大学教育改革プログラム～

文部科学省の施策や全国の大学での実践的・先進的取り組みの発表の場として、これまで 13 回開催しました。KK²の遠隔教育プラットフォームを最大限活用し、プログラムは全国の国公立大学を繋ぎ、ライブ配信しています。参加大学は 115 大学にのぼっています。

す。2012年度は「ギャップタームと産学連携」「地域活性化、地域情報化」「[国家戦略・プロフェッショナル検定]の産学連携による活用可能性をテーマに年3回程度開催する計画です。

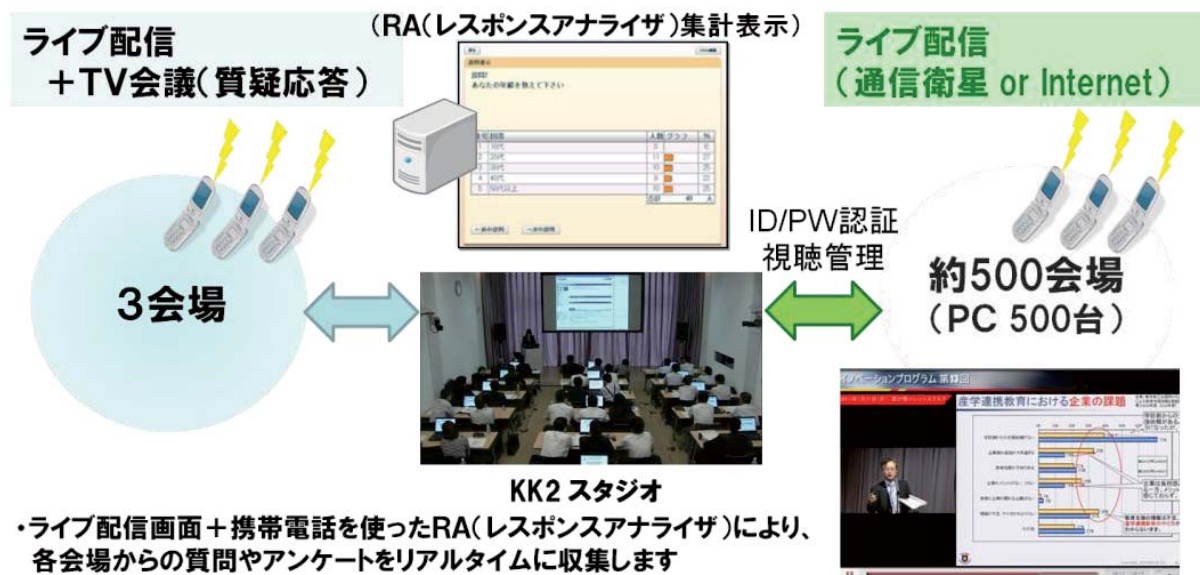
(3) 遠隔教育プラットフォームの普及

～ライブ配信と学習ライブラリの拡充～

KK2では、キャリア応援プログラム、KK2文化プログラム、イノベーションプログラムに、全国及び全世界の遠隔地の方々が参加できる遠隔教育プラットフォームを整備し、ライブ配信を実施しています。参加者はPCもしくは携帯端末で受講し、レスポンスアナライザ機能を使って質問し、アンケートやテストに回答するなど、双方向の遠隔教育を実践しています。

またKK2が主催するプログラムは原則すべて収録し、WEBコンテンツとしてサイトで公開しライブラリ化しており、いつでもどこでも学べるオンデマンド学習環境の拡充を進めています。

(遠隔教育プラットフォーム)



(4) KK²文化プログラム



～日本を理解し文化に親しむ～

官庁街、夜間過疎地・・・堅く無機質なイメージの霞が関。この街のにぎわいづくりの一環として古典芸能、音楽、映画、食文化などの文化イベントを実施。ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と、交流の場を提供。毎月 1 回開催の若手落語家や講談師による「霞が関寄席」、ワインの基本知識を楽しく学ぶ「ワインセミナー」、海外で活躍する音楽家や古典音楽などのコンサート「霞が関ミュージックサロン」、上映する機会が少ないドキュメンタリー映画を紹介する「霞が関シアター」などを実施しています。

文化庁の「霞が関から文化力」事業として認定され文化庁の Web サイトでも広報されています。主なプログラムは次の通りです。

(4)ー1 「ワインセミナー」

ワイン伝統国であるヨーロッパはもちろん、新興国、そして日本などをテーマに、生産地やぶどうの種類、ワインの製造方法など初心者向けにわかりやすく解説するワインセミナー。講師による講義だけでなく、ワインの試飲や交流会を通して楽しいひとときを企画し、ビジネスパーソンが気軽にワインの知識を身につけられる機会、異業種の交流の場の提供を行います。2012 年度は、ワインとチーズの組み合わせを楽しむセミナーを五回開催予定です。

(4)ー2 「霞が関寄席」

若手の落語家、講談師に高座に上がる機会を提供。ストレスの多いビジネスパーソンが伝統芸能に触れ、また笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。月一回開催。

(4)ー3 「霞が関ミュージックサロン」

世界で活躍する日本人アーティストの一時帰国に合わせたコンサートや、日本の伝統芸能に親しむ機会を提供。演奏者と参加者との交流会を通じ、道を究めたエキスパートの”生き方”にも触れることができます。2012 年度は、チェロコンサート、尺八と箏コンサートなど四回の開催予定です。

(4)ー4 「[震が関シアター](#)」

文化・科学・教育分野のインディペンデント系（自主・独立）映画の上映会を行います。上映会後は、制作スタッフとの交流や映画をテーマにしたトークイベント等の企画も行います。2012年度は、三回程度の開催予定です。

(5) Web サイト・メールマガジン等による情報発信

～<http://www.kk2.ne.jp>～

KK2 は、教育や人材育成分野における社会的プラットフォームとして Web サイトとメールマガジンによる事業案内、学習コンテンツ公開、事業への参加受付等を行う。

(5)ー1 震が関ナレッジスクエアWebサイトの運営

2011年度は、震が関ナレッジスクエア開設以来運営している Web サイトのリニューアルを行いました。「しごと力を学ぶ」「KK2 とコラボる」「スペース・サービス利用」という 3 種類の利用者ごとに整理し、情報提供を行っています。

「しごと力を学ぶ」は、個人を対象に社会人として働く際に求められるコンピテンシー（行動特性）を Feel=「人間関係力」、Think=「問題解決力」、Act=「実行力」に、Knowledge=「知識」、Skill=「技能」を加え、しごと力カテゴリとして分類し、それぞれのしごと力カテゴリごとに必要なコンテンツ情報を提供しています。

また、「KK2 とコラボる」は、主に企業・組織を対象に、KK2 を活用して、KK2 と連携することによって可能になる企業内・組織内の人材育成・情報伝達、メンバー制度について紹介しています。「スペース・サービス利用は、主に企業・組織を対象にレンタル施設の案内・利用ガイド、エキスパート倶楽部の案内・利用ガイドなどの情報公開を行っています。

2012年度は、Web 会員一人一人の「しごと力を学ぶ」内での受講履歴の表示をすすめる予定です。

(5)ー2 メールマガジン「[メッセージfrom KK²](#)」の発行

毎週金曜日に震が関ナレッジスクエアのメールマガジン「メッセージ from KK2」を発行しています。「メッセージ from KK2」は無料会員の Web 会員も含めて会員全員に発信しており、事務局と会員を結ぶ定期的な連絡ツールの役目を果たしています。巻頭言「メッセージ from kk2」「キャリア応援プログラム」「文化プログラム」「新掲 KK2 ライブセミナーライブラリ」「新掲 KK2 文化プログラム ライブラリ」「交流カフェ エキスパート倶楽部」「事務局からのお知らせ」で構成。年間発行予定数：約 50 回

(5)－3 オリジナルハイビジョンコンテンツ「江戸TOKYO散歩」の公開

霞が関ナレッジスクエア開設記念事業として制作した『「江戸 TOKYO 散歩」～広重「名所江戸百景」と東京の今～』。2010年度までに、中国語版（繁体字・簡体字）英語版・韓国語版が完成しました。現在、霞が関ナレッジスクエアの Web サイトで公開しています（日本語版のみ）が、今年度は、日本に関心のある海外の方々に対する公開の場を広げる活動を行います。



(6) 運営委員会とプログラム開発委員会

KK2 事業は、半期に一回開催される運営委員会では有識者の方々のご指導と、プログラム内容についてはプログラム開発委員会でのアドバイスを御得て運用しています。

(6)－1 霞が関ナレッジスクエア運営委員会

委員： 渡部 俊也 氏（東京大学先端科学技術研究センター 教授）
福田 猛 氏（一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長）
笹月 俊郎 氏（独立行政法人 科学技術振興機構 産学連携事業本部）
伊藤 健二 氏（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授/
霞が関ナレッジスクエア産学連携担当主席研究員）
伊庭野 基明 氏（グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ）
霞が関第 7 号館 PFI 株式会社（新日鉄エンジニアリング株式会社、
大成建設株式会社、東京建物株式会社、株式会社久米設計）
久保田 了司（財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア代表）

オブザーバー：文部科学省大臣官房会計課 施設管理班

事務局：(財) 高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア運用事務局

開催：半期毎に年2回。

(6)ー2 霞が関ナレッジスクエア プログラム開発委員会

新規プログラムの企画・開発について専門家等の有識者によるプログラム開発委員会を設置し、年3回程度検討会をおこなっています。

委員： 杉本 守孝氏（社団法人日本能率協会 経営研究主幹）
安藤 孝治 氏（株式会社 ANA 総合研究所 業務グループリーダー）
伊庭野 基明 氏（グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ）
久保田 了司（財団法人高度映像情報センター霞が関ナレッジスクエア代表）
伊藤 健二氏（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授 /
霞が関ナレッジスクエア産学連携担当主席研究員）
華井 弘子（エキスパート倶楽部ゼネラルマネージャー）
その他、テーマに応じて随時委員を設け、都度出席を要請しています。

事務局：財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア運用担当

開催予定：年3回（5月、10月、2月）

(7) メンバー制度

メンバーの種類は、大きくは協賛メンバー（KK2事業に協賛しKK2事業に参画しKK2事業を利用する団体）、法人メンバー（KK2事業を利用する団体）、Web会員（KK2事業を利用する個人）となっており、協賛メンバーは、企業・業界団体、NPO法人、大学・専門学校等、個人が対象となる。

(7)ー1 2012年度は、以下のメンバー獲得を目標とする。

ア. 協賛メンバー（企業・業界団体）：1口以上 126,000円/年 60口目標（現在 37口）

イ. 協賛メンバー(NPO法人)：63,000円/年 20機関目標（現在 2機関）

ウ. 協賛メンバー（大学・専門学校等）：63,000円/年 20機関目標（現在 11機関）

エ. 協賛メンバー（個人）：12,600円/年 100人目標（現在 36人）

オ. 法人メンバー（企業）：1口 126,000円目標ゼロ（現在 6機関）

カ. Web会員：無料（登録制） 目標 10,000人（現在 6,431人）

※現在の機関数は平成24年3月23日現在。

(7)ー2 有料会員へのKK2サービス

ア. 霞が関ナレッジスクエアのスタジオ等の施設利用についてメンバー料金にて提供

イ. 霞が関ナレッジスクエアの常設パソコン等の設備について無料で提供

- ウ. 霞が関ナレッジスクエアで開催する自主プログラムの会場参加についてメンバー割引
- エ. 霞が関ナレッジスクエアからライブ配信する自主プログラムのインターネット参加
- オ. 霞が関ナレッジスクエア Web サイトで公開している学習教材について、固定 IP アドレス登録により、個人認証なしで簡単に視聴できるサービスを提供するなど学習教材の提供
- カ. 霞が関ナレッジスクエア Eラーニング「しごと力向上講座」の提供
霞が関ナレッジスクエアメンバー（アカデミックメンバー、協賛メンバー）向けに提供を開始したEラーニングサービス。これから社会に出る人や若手ビジネスパーソンを対象に、仕事に必要なビジネスマナーやスキルを学べる教材を「しごと力向上ライブラリ」からピックアップしたものに加え、当財団オリジナル教材「個人情報保護の基本」（2シリーズ）をパッケージ化。2012年度も引き続き、メンバー向けにサービスを提供していきます。

(7)-3 無料会員（Web 会員）へのKK2サービス

- ア. Web 会員登録者には ID、パスワードを発行し、霞が関ナレッジスクエアWEBサイトで公開している学習教材の視聴やセミナーの参加申込を可能としています。
- イ. 霞が関ナレッジスクエアからライブ配信する自主プログラムのインターネット参加サービスを提供しています。

(8) レンタルスペース事業

(8)-1 スタジオ

メンバー、一般に対してセミナー会議等のスタジオの貸出を行う。

また今年度よりスタジオでの交流会パーティの提供を行う。

開業時間：平日 8：30～22：00（土曜日予約制）

年間利用時間目標：960時間、・利用人数目標：5,400人

パーティ交流会目標：12回

(8)-2 ラウンジ

メンバーにラウンジの常設パソコン席の貸出、セカンドオフィスサービスを行う。

開業時間：平日 9：00～18：00

年間利用者目標：840人

(8)-3 エキスパート倶楽部

メンバー、一般に対してランチの提供を行う。

メンバー、一般に対して交流会パーティの提供を行う。

開業時間 平日 11:30~15:00:主にランチ提供

平日の18:00以降、土日祝日については交流会パーティ利用

年間ランチ提供目標:15,000食、年間交流会パーティ利用目標:150回

(9) 事業スケジュール

(9)ー1 KK2カウンセリングプログラム

対象者:大学生~社会人

申込方法:霞が関ナレッジスクエアwebサイトの申込フォームより

時間:1回約40分(月~金 16:00~19:00 各4コマ)

費用:基本的に1人1回 無料

(9)ー2 KK2しごと力道場

2012年度日程は以下の予定です。

第1回 6月9日(土)

第2回 9月8日(土)

第3回以降未定

(9)ー3 エキスパート・スタジオ

2012年度日程は以下の予定です。

第1回 6月1日(金)

第2回 7月27日(金)

第3回 9月7日(金)

第4回 11月9日(金)

第5回 1月18日(金)

第6回 2月8日(金)

(9)ー4 イノベーションプログラム

2012年度日程は以下の予定です。

第1回 4月27日(金) 「ギャップタームと産学連携」

第2回 8月3日(金) 「地域活性化、地域情報化」

第3回 12月7日(金) 「[[国家戦略・プロフェッショナル検定]の産学連携による

活用可能性」

(9)ー5 ワインセミナー

2012年度日程は以下の予定です。

第1回 4月20日（金）「ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～イタリア編～」
3月1日（木）に開催した同セミナーは、大好評でご参加いただけない方もいたため、追加開催を決定しました。イタリアワインとイタリアチーズの組み合わせを紹介。ワインと相性の良いチーズの選び方、ホームパーティで楽しむチーズヴァリエーションなどについて解説。

第2回 6月29日（金）「ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～フランス編～」
フランスワインとフランスチーズの組み合わせを紹介。ワインと相性の良いチーズの選び方、ホームパーティで楽しむチーズヴァリエーションなどについて解説。

第3回 9月21日（金）「ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～日本編～」
日本のワインと日本のチーズの組み合わせを紹介。ワインと相性の良いチーズの選び方、ホームパーティで楽しむチーズヴァリエーションなどについて解説。

第4回 11月30日（金）「ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～世界各国編1～」
世界各国のワインとチーズの組み合わせを紹介。ワインと相性の良いチーズの選び方、ホームパーティで楽しむチーズヴァリエーションなどについて解説。

第5回 2月15日（金）「ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～世界各国編2～」
世界各国のワインとチーズの組み合わせを紹介。ワインと相性の良いチーズの選び方、ホームパーティで楽しむチーズヴァリエーションなどについて解説。

*各回とも、会場はエキスパート倶楽部。募集人数予定は30名程度を予定。

*講師：村瀬 美幸さん（株式会社フェルミエ 愛宕店店長）

※コーディネーター：

華井弘子

（霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部 ゼネラルマネージャー）

協賛メンバー向けワイン講座の開催

協賛メンバーの組織内福利厚生の一助として、要請があれば組織単位でのワインセミナーの開催を実施する。講義内容については、要望によってカスタマイズすることが可能。費用等については実費程度を想定。

*会場は、エキスパート倶楽部。20名程度の着席式。

*講師：華井弘子

(霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部 ゼネラルマネージャー)

(9)ー6 霞が関寄席

2012年度日程は以下の予定です。

- 第1回 4月26日(木) 神田織音 講談会
- 第2回 5月30日(水) 馬吉・駒与志二人会
- 第3回 6月22日(金) 鬼丸・小せん 二人会
- 第4回 7月18日(水) 立川談慶 独演会
- 第5回 8月31日(金) 金原亭若手一門会
- 第6回 9月28日(金) 立川談慶 独演会
- 第7回 10月26日(金) 神田織音 講談会
- 第8回 11月28日(水) 馬吉・駒与志二人会
- 第9回 12月26日(水) 立川談慶 独演会
- 第10回 1月25日(金) 鬼丸・小せん 二人会
- 第11回 2月24日(金) 神田織音 講談会
- 第12回 3月23日(金) 鬼丸・小せん 二人会

(9)ー7 ミュージックサロン

2012年度も株式会社MuCuL(ミュウカル)との共催で年間3回程度実施する計画です。

- 第1回 5月25日(金)
チェロコンサート(安田謙一郎)
- 第2回 7月20日(金)
若手によるフルートコンサート
- 第3回 10月12日(金)
邦楽シリーズ(尺八と箏)

(9)ー8 霞が関シアター

2012年度の日程は未定です。

(10) “故郷創世”プロジェクト

(10)-1 事業名

公民館連携による“故郷(ふるさと)創世”学習コンソーシアムモデル事業

(10)-2 対象組織

大船渡市末崎地区公民館

陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会場

(10)-3 事業概要

大船渡市末崎地区、陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会場、と KK2、鹿屋市串良町柳谷自治公民館（通称「やねだん」。以下、やねだんと呼ぶ。）等との交流連帯を通じて、両地区での自律したコミュニティ形成を促し、すべての人が尊厳をもって暮らせる地域を創造することを目的とする、故郷(ふるさと)創世モデルを目指します。

- ① 地区の要となる公民館、仮設住宅集会場にインターネット環境を整備する。
- ② 末崎地区公民館及び傘下 18 地域公民館、長洞元気村仮設住宅集会場で、KK2***と NPO 事業サポートセンターが募集派遣するボランティアチームと地域住民との交流啓発の場を設ける。
- ③ ネットを活かしたコミュニティ形成の先進事例を学び、各々の地域モデルを推進する。
- ④ すべての人が尊厳を持ち暮らす集落やねだん豊重哲郎氏等の実践に学び、地区住民の、住民による、住民のための故郷(ふるさと)創世モデルを推進する。

教材制作事業

(1) 映像ソフトの企画・開発

企業や各種団体・機関等で使用される広報・教育・技能訓練などの教材をビデオ、CD-ROM、DVDといった各種メディアで開発提供する。例年制作しているシリーズ教材や単発のオーダー教材のほかに、インターネットや遠隔教育で使用されるオンデマンド教材などのデジタルコンテンツの制作も行ないます。

コンサルティング事業

(1) 官公庁情報化推進支援業務

官公庁の情報化推進にあたり、情報化計画の策定や情報基盤整備、システム構築、ネットワーク構築等に係る企画・設計から設計監理までをトータルのコンサルティングを行ないます。

(2) 防災・消防関連コンサルティング業務

官公庁の防災通信システムならびに消防機関の有線及び無線通信システムに関する、計画策定・設計業務・設計監理業務などを行ないます。

(3) 教育・文化施設や企業等の施設におけるコンサルティング業務

公共図書館、生涯学習センター、教育センター、学校ならびに企業内教育施設等での情報システム・教育システム導入計画、リニューアル計画等に関連した基本計画、設計、運用計画、維持管理計画の策定業務を行ないます。

(4) 情報セキュリティ/プライバシーマーク取得コンサルティング業務

プライバシーマーク取得支援及び個人情報保護法対応に関するコンサルティングを行ないます。また、情報セキュリティを含む内部監査支援及び外部監査を行ない、外部からの脅威、内部の脆弱性などのリスクの分析により、不適合事項の改善提案や規程類の見直しを含めたコンサルティングを行ないます。

業務支援事業

(1) プライバシーマーク認定審査支援業務

(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)及び(財)放送セキュリティセンターが行なっている、個人情報適切に取り扱っている組織を一定の基準で認定し、プライバシーマークの使用を許諾する制度に係る審査業務を支援します。

(2) 個人情報保護研修支援業務

自治体や民間企業の個人情報保護に関する研修を行ないます。個人情報保護の意識研修から顧客の環境に合わせたケーススタディ演習まで、さまざまな状況に応じた研修を実施します。また、組織内の個人情報保護責任者(CPO)及び個人情報保護監査責任者に対し、JIS Q 15001に準拠した管理者向け研修を実施します。

(3) システム構築支援業務

公共施設をはじめ各種団体・企業等で導入される各種AVシステムやコンピュータネットワークシステム等の構築業務の支援を行ないます。

(4) 情報システム等運用保守支援業務

公共施設をはじめ各種団体・企業に設置されている各種AVシステムやコンピュータネットワークシステムを対象に、オペレーションから機器の管理・日常点検業務及び運用業務の支援を行なう。また、遠隔教育・eラーニングシステムの運用と関連コンテンツ開発の支援業務を行ないます。

(4)-1 テレビ会議システム運用業務

昨年度に引き続き、独立行政法人国際協力機構(JICA)が運用するTV会議システムの機能及び可能性を最大限に活用し、より効果的な遠隔技術協力を実現するため、遠隔技術協力に係る一連のシステムの運用業務を行います。

JICA本部に要員を配置し、JICA本部TV会議室、国内拠点、在外拠点に設置されたTV会議システムの運用、貸出用TV会議装置類を利用した外部施設を接続した番組配信のための運用、及び一連の共通業務を含む管理を行います。